



『はらぺこあおむし』は実はメイド・イン・ジャパン

誰もが一度は目にしたことがあると思う有名な『はらぺこあおむし』エリック・カール：作ですが、1969年にアメリカで出版された時には、Printed in Japanと書かれていました。当時のアメリカの出版技術では穴あきの仕掛けやページの幅の様々なこの作品を印刷してくれる会社がなかったそうです。偕成社が日本の印刷製本会社に頼み、アメリカで出版されたいきさつがあり、『はらぺこあおむし』は日本生まれです。今月はその作者で、5月に亡くなったエリック・カールさんの特集です。

★鮮やかな色彩はここから★



『えをかくかくかく』 アーサー・ビナード：訳 偕成社

カールさんの作品の特徴はなんといっても色彩の鮮やかさ、描く線の自由で大胆なこと。この作品も、とても鮮やかな色彩の動物たちが自由に楽しく躍動している様子が描かれています。色彩の豊かさや一本一本の線の大胆で自由な秘密が、この作品を見るとわかりますよ。カールが12歳に出会った人物・美術の先生とフランツ・マルクの「青い馬Ⅰ」という作品が彼の人生に大きな影響を与えたのです。詳細は作品をぜひ読んでみてくださいね。

★忙しいのよ～★

『くもさん おへんじ どうしたの』 もりひさし：訳 偕成社



色々な動物たちが、くもさんを遊びやおいしいものを食べに行こうと声をかけて誘いますが、ちっとも返事が返ってきません。なぜなら、くもさんは巣を作るのに夢中で声をかけてくれていることに気が付いていないのです。私たちも何かに夢中になるとこうなっちゃいますね。この作品も簡単な仕掛け絵本でくもの糸が浮き出ている、触っても楽しめます。印刷会社泣かせのカールさんです。

★ゆっくり、のんびり、おっとり★



『ゆっくりがいっぱい』 くどうなおこ：訳 ジェーン・グドール：前書 偕成社

ゆっくり、のんびり、おっとりとしたナマケモノ君。みんなにどうしてそんなにゆっくりでのんびりでおっとりなのかと聞かれますが、返事をしません。ただ、ジャガーにどうして怠けているんだいと聞かれて、返事を一生懸命考えて答えを出します。答えは読んでのお楽しみ。急いでばかりではわからないこともあるもんです！裏表紙には作品に出てくる動物たちが描かれています。どこに描かれているのかを探すのも楽しみの一つですよ。